

中2

数学

ポイント

名前 _____

証明のしくみ

_____ 月 _____ 日

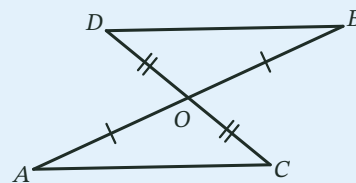
まとめ 証明のしくみ

教科書 P.116~P.121

標準

証明は、仮定から出発し、すでに正しいと認められていることがら(根拠)を使って結論を導くこと。三角形の合同を使うときは、等しい辺・角を3つ示し、合同条件につなげる。

例

(1) 証明の例($AO = BO$ 、 $CO = DO$ ならば) $\triangle AOC \equiv \triangle BOD$) $\triangle AOC$ と $\triangle BOD$ において、仮定から、 $AO = BO$ …①、 $CO = DO$ …②対頂角は等しいから、 $\angle AOC = \angle BOD$ …③①、②、③ より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle AOC \equiv \triangle BOD$ 

①②③ のそれぞれに根拠を書く

(2) よく使う根拠

対頂角は等しい。平行線の同位角・錯角は等しい。

三角形の内角の和は 180° 。

合同な図形の対応する辺・角は等しい。

2つの三角形に共通な辺は、それ自身と等しい。

合同を示したあと、「対応する辺(角)は等しい」を使って、辺や角が等しいことを導く

